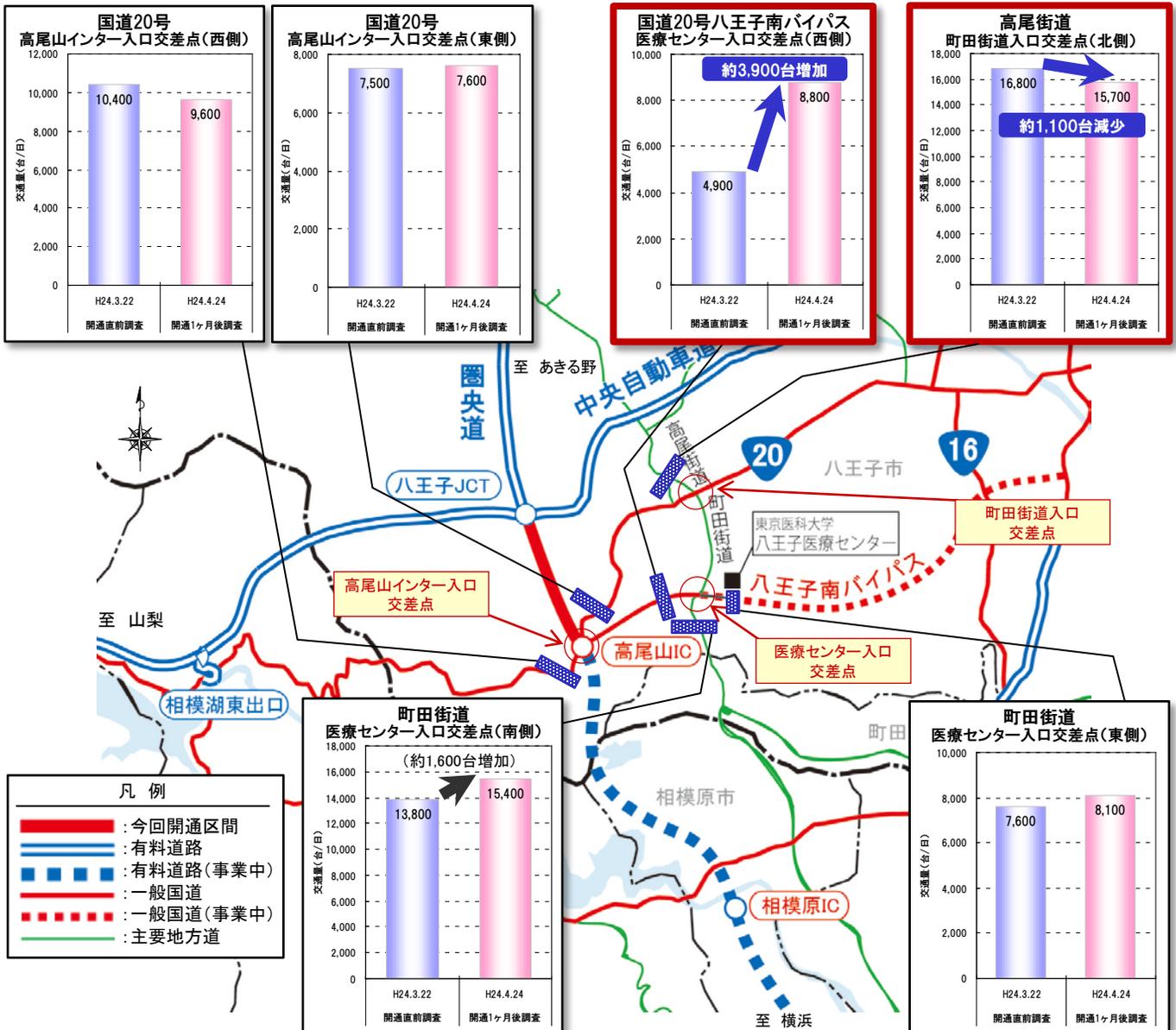


一般道路の交通状況の変化(その1)

開通区間に並行する高尾街道の交通量が約7%減少

開通区間に接続する国道20号八王子南バイパスの交通量が約1.8倍増加

- ・開通区間に並行する高尾街道（都道八王子あきる野線）の交通量が約7%減少しています。
- ・また、開通区間に接続する国道20号については顕著な変化はみられませんでしたでしたが、同じく接続する八王子南バイパスの交通量は大きく増加しています。
- ・八王子南バイパスの増加分については、相模原方面の交通が多く占めており、同方面から圏央道へのアクセス道路としての機能を果たしていることによるものと考えられます。



出典：交通量調査結果より断面(双方向)の合計を算出。なお、数値は百台単位で丸めたものである。調査日：開通前：平成24年3月22日(木)、開通後：平成24年4月24日(火)

一般道路の交通状況の変化(その2)

開通区間に並行する高尾街道の交通量が減少し、町田街道入口交差点のピーク時の渋滞が緩和

開通区間に並行する高尾街道（都道八王子あきる野線）の交通量が減少し、町田街道入口交差点北側の渋滞長が、朝方のピーク時（7:00～10:00）では約300m減少し、夕方のピーク時（16:00～19:00）では700mが0mとほぼ解消しました。



直進・左折車線の混雑状況

開通前



交通量が多く、1回の青信号で交差点を通過することができなかったため、渋滞が発生していました。

[平成24年3月22日撮影]

開通後



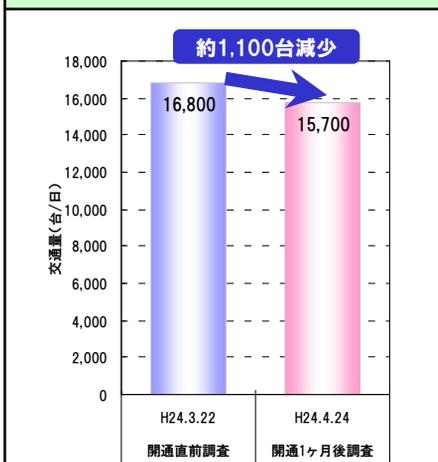
交通量が減少し、1回の青信号で交差点を通過できるようになったため、渋滞はほぼ解消されました。

[平成24年4月24日撮影]

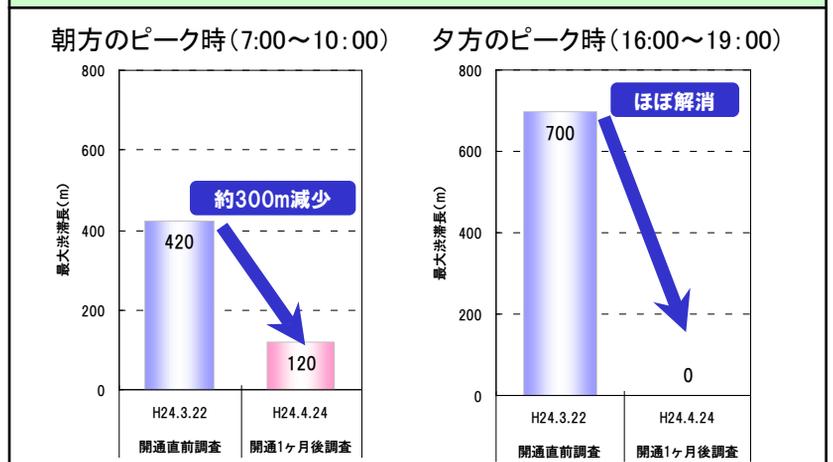
凡例

- : 今回開通区間
- : 有料道路
- ■ ■ ■ : 有料道路(事業中)
- : 一般国道
- ■ ■ ■ : 一般国道(事業中)
- : 主要地方道

交通量の変化



最大渋滞長の変化



出典: 交通量調査結果、渋滞長調査結果

なお、交通量の数値は百台単位で、渋滞長の数値は十メートル単位で丸めたものである
調査日 開通前: 平成24年3月22日(木) 開通後: 平成24年4月24日(火)